

| 氏 名<br>ふ り が な | たかはし さとる<br>高橋 智                                                                                                                                                                                                                                                         | 職 名 | 客員教授 |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|
| 取得学位           | 博士（教育学）（東京都立大学）                                                                                                                                                                                                                                                          |     |      |
| 学 歴            | 早稲田大学第一文学部教育学専攻卒業<br>東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程障害児教育学専攻修了（教育学修士）<br>東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程教育学専攻単位取得退学                                                                                                                                                                             |     |      |
| 受賞歴等           | 第 10 回杉田賞<br>第 28 回国際理解教育賞奨励賞（共同）<br>第 4 回学事出版教育文化賞優秀賞（共同）<br>第 4 回大阪 YMCA 研究論文奨励賞（共同）<br>小金井市市制施行 55 周年記念功労者表彰<br>日本子ども学会第 12 回学術集会優秀発表賞（共同）<br>公益財団法人未来教育研究所第 8 回研究助成奨励賞（共同）<br>日本子ども学会第 15 回学術集会最優秀発表賞（共同）<br>第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会感謝状<br>2021 年度日本特別ニーズ教育学会文献賞 |     |      |
| 所属学会           | 一般社団法人日本特殊教育学会（名誉会員、副理事長・理事・副編集委員長・常任編集委員等歴任）<br>日本特別ニーズ教育学会（代表理事・理事・事務局長・編集委員等歴任）<br>一般社団法人日本教育学会（編集委員歴任）<br>教育史学会（編集委員歴任）<br>日本教育史学会<br>日本教育史研究会<br>日本発達障害学会<br>社会事業史学会<br>日本子ども学会（榊原子ども学奨励賞審査委員）<br>一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会                                           |     |      |

| 教 育 活 動                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （主な担当科目）<br>2025 年：特別支援教育、特別支援教育総論、発達障害教育論、発達障害児の心理・生理・病理、病弱教育論、病弱児の心理・生理・病理<br>2024 年：<br>2023 年：<br>2022 年：<br>2021 年：<br>2020 年：<br>（その他） |



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

東京学芸大学名誉教授（2020 年 4 月～現在）

日本大学文理学部教育学科教授（2020 年 4 月～2025 年 3 月）

放送大学教養学部客員教授（「特別支援教育総論」「特別支援教育基礎論」担当）（2019 年～現在）

## 研 究 活 動

### 著書等

1. 法務省矯正局編（高橋智・田部絢子・内藤千尋作成協力）『発達上の課題を有する在院者に対する処遇プログラム実施ガイドライン（改訂）』、全 102 頁、法務省矯正局、2025 年 3 月
2. 高橋智・田部絢子「学校教育・特別支援教育における ICT などの支援技術・機器の開発・利活用の動向と課題」、井上淳・小野栄一編著『社会に役立つプロジェクト型学習—多分野学生による福祉機器製作—』東京電機大学出版局、全 157 頁、2025 年 3 月
3. 高橋智・能田昂・田部絢子編著『コロナ禍と子どもの発達困難・リスクの研究—子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる—』風間書房、全 492 頁、2024 年 11 月
4. 高橋智監修、あつくん作『あつくんはねむりたい—眠りの困難と発達障害—（増補改訂版）』そらの子出版、全 31 頁、2024 年 6 月
5. 高橋智：放送大学「特別支援教育基礎論」第 6 回講義教材「特別支援教育の歴史②戦前日本編」、2024 年 4 月、<https://online.ouj.ac.jp/course/view.php?id=1277#section-6>、第 7 回講義教材「特別支援教育の歴史③戦後日本編」、2024 年 4 月、<https://online.ouj.ac.jp/course/view.php?id=1277#section-7>、第 15 回講義教材「災害・感染症パンデミック等の災禍と特別支援教育」、2024 年 4 月、<https://online.ouj.ac.jp/course/view.php?id=1277#section-15>
6. 高橋智監修、あつくん作『あつくんはたべられない—食の困難と感覚過敏—（増補改訂版）』そらの子出版、全 30 頁、2023 年 3 月
7. 高橋智「刊行によせて：災害と子ども被災・救済の特別教育史研究を拓く」、能田昂『濃尾震災（1891 年）における子ども救済と特別教育史研究』風間書房、全 244 頁、2022 年 10 月
8. 高橋智「刊行によせて：日本における特別ニーズ教育・特別支援教育の源流を探る」、石井智也『戦前の東京市の初等教育と「特別な教育的配慮・対応」の研究』風間書房、全 348 頁、2022 年 9 月
9. 高橋智・田部絢子「感覚過敏等の発達特性を有する子どもの食の困難と発達支援」、田村文誉・水上美樹編著『ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション』医歯薬出版、全 159 頁、2021 年 7 月
10. 高橋智「刊行によせて：発達障害等の発達困難と非行を併せもつ子ども・若者の発達支援を拓く」、内藤千尋『発達障害等を有する非行少年と発達支援の研究』風間書房、全 280 頁、2021 年 5 月
11. 高橋智「インクルージョン」他 7 件（分担執筆）、細尾萌子・柏木智子編集代表『小学校教育用語辞典』ミネルヴァ書房、全 365 頁、2021 年 5 月
12. 高橋智監修、あつくん作『あつくんはねむりたい—眠りの困難と発達障害—』、世音社、全 28 頁、2020 年 10 月
13. 高橋智・加瀬進監修／日本特別ニーズ教育学会編『現代の特別ニーズ教育』、文理閣、全 318 頁、2020 年 6 月
14. 柴田真緒・高橋智著『発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究』風間書房、全 358 頁、2020 年 3 月



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

(2021 年度日本特別ニーズ教育学会文献賞受賞)

## 論文等

1. 高橋智・石井智也：昭和戦前期の高等女学校生徒の有する多様な「学習・生活・健康等の困難」の実態と配慮・対応に関する教育史的検討、『日本大学文理学部人文科学研究所研究紀要』第 109 号、pp.147-167、2025 年 2 月(審査有)
2. 高橋智・石川衣紀・田部絢子・石井智也・能田昂・内藤千尋・池田敦子：スウェーデンにおける発達性言語障害教育の動向と課題—国立発達性言語障害特別学校の訪問調査（2024 年 3 月）から—、『日本大学文理学部人文科学研究所研究紀要』第 109 号、pp.197-207、2025 年 2 月(審査有)
3. 高橋智・能田昂・田部絢子：子どものコロナ禍後遺症問題に関する研究の動向と課題、『ポストコロナ社会における教育問題に関する発展的研究—日本大学文理学部人文科学研究所共同研究報告書—』、pp.9-18、日本大学文理学部教育学科、2025 年 2 月(審査有)
4. 石井智也・高橋智：総力戦・戦時動員体制下の高等女学校と女子生徒の母体保護・利用厚生の実践—保健教育と育児・看護教育を中心に—、『兵庫教育大学研究紀要』第 66 巻、pp.29-40、2025 年 2 月
5. 石川衣紀・高橋智：知能検査法開発のフロンティア—アルフレッド・ビネとテオドール・シモン研究の現在—、『長崎大学教育学部紀要』第 11 集、pp.37-48、2025 年 3 月
6. 高橋智・内藤千尋・田部絢子：発達上の課題・困難を有する少年院在院者の処遇に関する検討—基礎的環境整備・合理的配慮と発達支援の視点から—、『矯正教育研究』第 70 巻、pp. 121-127、日本矯正教育学会、2025 年 3 月(審査有)
7. 竹澤沙希・高橋智・田部絢子：教育委員会における教職員のメンタルヘルス問題対応策の現状と課題—全国都道府県・政令指定都市教育委員会調査を通して—、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第 17 号、pp.74-92、2025 年 3 月
8. 田部絢子・吉井こころ・高橋智：高校生及び発達障害当事者の本人調査から探る「見ること」の困難と発達支援の課題、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第 17 号、pp.93-112、2025 年 3 月
9. 内藤千尋・石井智也・田部絢子・石川衣紀・池田敦子・能田昂・高橋智：スウェーデンの就学前学校における特別ニーズ教育の動向と実際—特別ニーズ教育を実施する就学前学校 3 校の訪問調査から—、『山梨障害児教育学研究紀要』第 18 号、pp.21-33、山梨大学教育学部障害児教育講座、2024 年 2 月
10. 田部絢子・高橋智：発達障害等の発達特性を有する子どもの食の困難と発達支援、『障害者問題研究』第 51 巻 4 号、pp.9-16、全国障害者問題研究会、2024 年 2 月(審査有)
11. 高橋智・石井智也：昭和戦前期の旧制中学校生徒の有する多様な「学習・生活・健康等の困難」の教育史的検討、『日本大学文理学部人文科学研究所紀要』第 107 号、pp.179-193、2024 年 2 月(審査有)
12. 石井智也・田部絢子・内藤千尋・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智：スウェーデンの国民大学と障害当事者の継続教育・成人教育・生涯学習支援の動向：訪問調査から、『兵庫教育大学研究紀要』第 64 巻、pp.61-76、2024 年 2 月
13. 石川衣紀・高橋智：戦前における鈴木治太郎の知能測定法の標準化の検討、『長崎大学教育学部紀要』第 10 集、pp.21-32、2024 年 3 月
14. 田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智：スウェーデンのインクルーシブ教育と聴覚障害児教育の動向—ストックホルム市アルヴィーク基礎学校「聴覚障害クラス」の訪問調査を



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。  
TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

通して一、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第16号、pp.97-107、2024年3月

15. 田部絢子・酒井愛瑠・高橋智：食の困難を有する子ども・家族の実態と発達支援の課題—全国の児童発達支援センターの職員調査から—、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第16号、pp.81-95、2024年3月
16. 内藤千尋・田部絢子・高橋智：少年院における発達上の課題・困難を有する少年の修学・移行支援の課題—少年院在院者への継続的な面接法調査から—、『矯正教育研究』第69巻、pp.76-83、日本矯正教育学会、2024年3月(審査有)
17. 田部絢子・高橋智：感覚過敏等の感覚特性を有する子どもの食の困難と発達支援、『こころの科学』第235号、pp.27-31、日本評論社、2024年5月
18. 能田昂・田部絢子・内藤千尋・石川衣紀・石井智也・池田敦子・高橋智：子どものコロナ後遺症に伴う発達の困難・リスクの実相と発達支援に関する実証的研究(中間報告)、『発達研究』第38巻、pp.153-158、公益財団法人発達科学研究教育センター、2024年6月
19. 高橋智・内藤千尋・田部絢子：少年院在院の「境界知能」等の発達困難を有する少年の支援ニーズと発達支援、『生活指導』No.775、pp.32-37、全国生活指導研究協議会、2024年8月
20. 石井智也・田部絢子・能田昂・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・高橋智：コロナ禍5年目のフィンランドにおける子どものメンタルヘルス問題の動向—「フィンランド精神保健協会(MEILI)」の訪問調査(2024年3月)から—、『兵庫教育大学研究紀要』第65巻、pp.97-104、2024年9月
21. 高橋智・能田昂・田部絢子：「子ども被災・救済の特別ニーズ教育」創成の課題と展望『日本大学文理学部人文科学研究所研究紀要』第108号、pp.103-117、2024年9月(審査有)
22. 田部絢子・石川衣紀・能田昂・石井智也・内藤千尋・池田敦子・高橋智：コロナ禍5年目のスウェーデンにおける子どものコロナ禍後遺症問題の動向—子どもの権利擁護組織BRISとストックホルム県立摂食障害センターの訪問調査(2024年3月)から—『SNEジャーナル』第30巻1号、pp.118-131、日本特別ニーズ教育学会、2024年10月(審査有)
23. 山田裕之・田村文誉・駒形悠佳・磯田友子・水上美樹・田中祐子・田部絢子・高橋智・菊谷武：食の問題に関するアンケート第1報：離乳完了後から就学前まで、『日本口腔リハビリテーション学会雑誌』第37巻1号、pp.1-8、一般社団法人日本口腔リハビリテーション学会、2024年12月(審査有)
24. 田村文誉・駒形悠佳・山田裕之・磯田友子・水上美樹・田中祐子・田部絢子・高橋智・菊谷武：食の問題に関するアンケート第2報：小中学生から高校生まで、『日本口腔リハビリテーション学会雑誌』第37巻1号、pp.9-15、一般社団法人日本口腔リハビリテーション学会、2024年12月(審査有)
25. 高橋智・田部絢子・内藤千尋・石川衣紀・能田昂・石井智也・池田敦子・柴田真緒：コロナ禍における子どもの生活実態と支援ニーズ—全国の小中高校生調査から—、『Society5.0に対応する学校教育に関する基礎的研究—日本大学文理学部人文科学研究所共同研究—』、pp.49-57、日本大学文理学部教育学科、2023年2月
26. 高橋智・田部絢子・柴田真緒・石川衣紀・内藤千尋・能田昂：コロナ禍における子どもの「生活・学習・発達」の困難と支援ニーズ—全国の小中高校生調査から—、『日本大学文理学部人文科学研究所紀要』第105号、pp.1-16、2023年2月(審査有)
27. 石川衣紀・池田敦子・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・柴田真緒・高橋智：コロナ禍と障害を有する子どもの「いのち・生活・発達」の困難・リスクに関する動向—肢体不自由・重症心身障害・病弱を中



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY



心に一、『長崎大学教育学部紀要』第9集、pp.79-96、2023年3月

28. 田部絢子・石井智也・柴田真緒・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智：コロナ禍と障害を有する子どもの「いのち・生活・発達」の困難・リスクに関する動向—知的障害・発達障害を中心に一、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第15号、pp.39-55、2023年3月
29. 内藤千尋・田部絢子・高橋智：少年院における発達上の課題・困難を有する少年の発達支援に係る研究動向、『矯正教育研究』第68巻、pp.90-97、日本矯正教育学会、2023年3月(審査有)
30. 能田昂・田部絢子・高橋智：アイスランドにおけるコロナ禍に伴う子どもの発達リスクと学校教育の動向、『チャイルド・サイエンス』Vol.25、pp.46-50、日本子ども学会、2023年3月(審査有)
31. 能田昂・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・石川衣紀・高橋智：スウェーデンのインクルーシブ教育と知的障害教育問題の動向—スウェーデンの知的障害当事者組織「Riksförbundet FUB」への訪問調査から一、『尚絅学院大学紀要』第85号、pp.117-128、2023年8月
32. 高橋智・田部絢子・能田昂・内藤千尋・石井智也・石川衣紀・池田敦子：北欧諸国における子どもの「コロナ後遺症」問題と発達困難・リスクに関する議論の動向、『日本大学文理学部人文科学研究所紀要』第106号、pp.217-233、2023年9月(審査有)
33. 高橋智・田部絢子・能田昂・内藤千尋・石井智也・石川衣紀・池田敦子：子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる—子どものコロナ禍後遺症と発達の困難・リスクの動向—、『チャイルド・サイエンス』Vol.26、pp.11-15、日本子ども学会、2023年9月(審査有)
34. 石川衣紀・田部絢子・能田昂・石井智也・内藤千尋・池田敦子・高橋智：コロナ禍のスウェーデンにおける子どものメンタルヘルス問題の動向と発達支援の課題—児童思春期精神障害中間ケア施設「BUP Mellanvård NV」の訪問調査を通して一、『SNE ジャーナル』第29巻1号、pp.113-125、日本特別ニーズ教育学会、2023年10月(審査有)
36. 内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・石川衣紀・高橋智：スウェーデンにおける多様な発達困難を有する子ども・若者の発達支援—「BRIS (Barnens Rätt i Samhället: 社会における子どもの権利)」の訪問調査から一 『山梨大学教育学部紀要』第32号、pp.51-61、2022年2月
37. 内藤千尋・田部絢子・石井智也・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智：スウェーデンにおける精神障害者の地域ケア—精神障害当事者支援組織「フォンテンヒュス・フェンダール支部 (Fontänhus Sköndal)」の訪問調査から一、『山梨大学教育学部紀要』第32号、pp.39-50、2022年2月
38. 高橋智・田中謙・西牧謙吾・田部絢子・石井智也・池田敦子・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・柴田真緒：特別支援学校の自立活動に関する動向と課題—「肢体不自由・病弱」領域を中心に一、『現代教育改革の理念と実践に関する研究—日本大学文理学部人文科学研究所共同研究(第四次報告書)—』、pp.25-30、日本大学文理学部教育学科、2022年2月
39. 高橋智・田中謙・西牧謙吾・田部絢子・石井智也・池田敦子・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・柴田真緒：特別支援学校の自立活動に関する動向と課題—「知的障害」領域を中心に一、『現代教育改革の理念と実践に関する研究—日本大学文理学部人文科学研究所共同研究(第四次報告書)—』、pp.31-36、日本大学文理学部教育学科、2022年2月
40. 高橋智・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋：肢体不自由・知的障害等の重度重複障害当事者と感覚を通した発達支援—デンマークの国際スヌーズレン協会への訪問調査から一、『日本大学文理学部人文科学研究所紀要』第103号、pp.121-133、2022年2月(審査有)



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

41. 高橋智・能田昴・石川衣紀・石井智也・田部絢子：北欧諸国のコロナ禍における子どもの発達危機と発達支援に関する動向―ノルウェー・フィンランドを中心に―、『日本大学文理学部人文科学研究紀要』第 103 号、pp.135-147、2022 年 2 月(審査有)
42. 田中謙・高橋智・滝澤雅彦・藤平敦・土屋弥生・太田由加里・杉森知也・伊佐野龍司：私立大学における特別支援学校教員養成課程経営の現状と課題、『日本大学文理学部人文科学研究紀要』第 103 号、pp.187-202、2022 年 2 月(審査有)
43. 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昴・高橋智：アイスランドの特別ニーズ教育システムの動向―アイスランド教育科学文化省の訪問調査から―、『長崎大学教育学部紀要』第 8 集、pp.43-58、2022 年 3 月
44. 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昴・柴田真緒・池田敦子・高橋智：デンマークにおける肢体不自由(運動障害)教育システムの動向―インクルーシブ教育における肢体不自由(運動障害)特別学校・学級の意義と役割―、『長崎大学教育学部紀要』第 8 集、pp.59-74、2022 年 3 月
45. 高橋智：発達困難を背負わされた非行少年と発達支援―少年院における発達相談臨床から―、『教育』第 914 号、pp.94-97、旬報社、2022 年 3 月
46. 田部絢子・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・能田昴・池田敦子・高橋智：フィンランドにおける国立特別教育研究機関と国立特別学校の役割―国立学習支援研究センターValteri と併設国立特別学校 Ruskis の訪問調査から―、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第 14 号、pp. 61 - 71、2022 年 3 月
47. 田部絢子・坂口めぐみ・柴田真緒・高橋智：高校生における食・睡眠の困難と心身の不調―高校生調査から―、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第 14 号、pp.73-85、2022 年 3 月
48. 高橋智・内藤千尋・田部絢子：少年院在院者の支援ニーズからみた少年院・矯正教育の検討課題、『矯正教育研究』第 67 巻、pp. 104-111、日本矯正教育学会、2022 年 3 月(審査有)
49. 高橋智：コロナ禍における子どもの「いのち・生活・発達」の危機と学校教育の意義・役割(日本教育学会第 80 回大会報告；公開シンポジウム・コロナが投影する学校教育の「本質」)、『教育学研究』第 89 巻 1 号、pp.87-89、日本教育学会、2022 年 3 月
50. 池田敦子・高橋智：自傷・摂食障害等の生きづらさを抱える若者の生き立ちと発達の自立の過程、『東海学院大学研究年報』第 7 号、pp. 57-64、2022 年 3 月
51. 池田敦子・田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・能田昴・柴田真緒・高橋智：スウェーデンにおける病気の子どもの特別教育システムと支援の実際、『東海学院大学研究年報』第 7 号、pp. 65-81、2022 年 3 月
52. 石井智也・高橋智：戦前の青年学校における勤労青年の多様な困難に応じた配慮・対応の取り組み、『東海学院大学研究年報』第 7 号、pp. 83-100、2022 年 3 月
53. 石井智也・能田昴・田部絢子・高橋智：デンマークにおけるコロナ禍と子どもの「いのち・生活・発達」の危機に関する動向、『東海学院大学研究年報』第 7 号、pp. 101-109、2022 年 3 月
54. 高橋智：スウェーデンにおける病気の子どもの教育ケアの動向、『障害者問題研究』第 50 巻 1 号、pp.43-48、全国障害者問題研究会、2022 年 5 月(審査有)
55. 能田昴・田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智：デンマークにおける病気の子どもの特別教育システムの動向―歴史的変遷と現行の特別教育制度を中心に―、『尚絅学院大学紀



要』第 83 号、pp.17-32、2022 年 7 月

56. 石井智也・田部絢子・能田昂・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智：デンマークにおける病気の子どもの特別教育の実際、『尚絅学院大学紀要』第 83 号、pp.33-46、2022 年 7 月
57. 石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・能田昂・高橋智：特別支援教育における ICT 利活用に関する動向と課題—視覚障害・聴覚障害教育を中心に—、『長崎大学教育学部教育実践研究紀要』第 21 号、pp.125-134、2022 年 8 月
58. 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・池田敦子・能田昂・柴田真緒・高橋智：特別支援教育における ICT 利活用に関する動向と課題—知的障害・発達障害・肢体不自由教育を中心に—、『長崎大学教育学部教育実践研究紀要』第 21 号、pp.136-147、2022 年 8 月
59. 高橋智・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・柴田真緒：特別支援教育における ICT 利活用に関する動向と課題—病弱教育を中心に—、『日本大学文理学部人文科学研究所紀要』第 104 号、pp.289-302、2022 年 9 月(審査有)
60. 高橋智：特別ニーズ教育の「特別ニーズ」についての学史的検討—SNE 学会設立 10 年間の議論のレビューから—、『SNE ジャーナル』第 28 巻 1 号、pp.5-22、日本特別ニーズ教育学会、2022 年 10 月(審査有)
61. 能田昂・高橋智：スペイン風邪パンデミック (1918-1920) における日本の子どもと学校教育、『SNE ジャーナル』第 28 巻 1 号、pp.123-135、日本特別ニーズ教育学会、2022 年 10 月(審査有)
62. 田部絢子・高橋智：コロナ禍における子どもの食の困難・リスクに関する動向、『SNE ジャーナル』第 28 巻 1 号、pp.136-147、日本特別ニーズ教育学会、2022 年 10 月(審査有)
63. 高橋智・田部絢子：高校の特別支援教育の進捗状況と課題、『月刊高校教育』第 55 巻 13 号、pp.22-25、学事出版、2022 年 12 月
64. 能田昂・田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・高橋智：新型コロナ後遺症 (Long COVID) と子どもの発達困難・リスクに関する研究動向、『尚絅学院大学紀要』第 84 号、pp.51-66、2022 年 12 月
65. 石井智也・内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・能田昂・池田敦子・柴田真緒・高橋智：スウェーデンのインクルーシブ教育における視覚障害児教育の動向、『東海学院大学紀要』第 16 号、pp. 137-144、2022 年 12 月
66. 石井智也・内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・能田昂・池田敦子・柴田真緒・高橋智：デンマークのインクルーシブ教育における視覚障害児教育の動向、『東海学院大学紀要』第 16 号、pp. 129-136、2022 年 12 月
67. 高橋智・内藤千尋・田部絢子：ノルウェーにおける依存症を親にもつ子ども・若者の当事者支援—当事者支援組織「Barn Av Rusmisbrukere」の訪問調査から—、『矯正教育研究』第 66 巻、pp.81-86、日本矯正教育学会、2021 年 3 月(審査有)
68. 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智：スウェーデンにおける発達障害当事者組織による当事者支援—発達障害当事者組織「Attention」への訪問調査を通して—、『日本福祉大学スポーツ科学論集』第 4 巻、pp.93-97、2021 年 3 月
69. 石井智也・田部絢子・石川衣紀・能田昂・高橋智：デンマークにおける特別学校 (知的障害・自閉症) の役割—Brøndagerskolen 特別学校と Grydemoseskolen 併設 TeamV 特別学校の訪問調査から—、『日本福祉



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

大学スポーツ科学論集』第4巻、pp.99-105、2021年3月

70. 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・石井智也・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智：スウェーデンの就学前学校におけるアレルギー対応支援—マルメ市の「アレルギー専用就学前学校（Änggårdens Allergiförskola）」への訪問調査から—『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第13号、pp.115-123、2021年3月
71. 田部絢子・高橋智：フィンランドにおける子ども・若者の摂食障害と支援の動向—ヘルシンキ大学病院精神科摂食障害ユニットと摂食障害専門ケアセンターの訪問調査から—、『金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要』第13号、pp.125-137、2021年3月
72. 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・池田敦子・石井智也・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智：スウェーデンの特別教育における専門行政機関の役割—「特別ニーズ教育庁」の訪問調査から—、『長崎大学教育学部紀要』第7集、pp.85-93、2021年3月
73. 石川衣紀・田部絢子・高橋智：スウェーデンにおける子ども・若者の「不登校・ひきこもり」問題と当事者中心の支援、『長崎大学教育学部紀要』第7集、pp.95-106、2021年3月
74. 小野川文子・高橋智：知的障害児とその家族の生活実態の検討—北海道の知的障害特別支援学校の保護者調査から—、『発達障害研究』第43巻1号、pp.77-91、日本発達障害学会、2021年5月(審査有)
75. 高橋智：特別支援学校設置基準問題にみる特別支援教育条件整備の課題、『みんなのねがい』第665号、pp.22-25、全国障害者問題研究会出版部、2021年7月
76. 石井智也・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・能田昂・高橋智：フィンランドにおける知的障害・自閉症等の重度障害を有する子どもの短期・一時ケア施設と「生活と発達」の支援—ヴァンター（Vantaa）市の「アルマ（Alma）」への訪問調査を通して—、『尚絅学院大学紀要』第81号、pp.69-76、2021年7月
77. 能田昂・田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・池田敦子・石井智也・柴田真緒・高橋智：スウェーデンにおける障害者雇用・就労支援の動向—国営企業「サムハル（Samhall AB）」への訪問調査から—、『尚絅学院大学紀要』第81号、pp.77-84、2021年7月
78. 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・池田敦子・石井智也・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智：スウェーデンにおける障害者の学び直しと生涯学習・発達の保障—「ヴェスタンヴィーク聴覚障害国民大学（Västanviks folkhögskola）」の訪問調査から—、『長崎大学教育学部教育実践研究紀要』第20号、pp.1-10、2021年8月
79. 石川衣紀・田部絢子・内藤千尋・石井智也・能田昂・高橋智：スウェーデンにおける子ども病院と病院内教育の実際—ストックホルム市「サククス子ども病院」の訪問調査から—、『長崎大学教育学部教育実践研究紀要』第20号、pp.11-19、2021年8月
80. 高橋智：発達障害当事者とSNS使用、『チャイルド・サイエンス』Vol.22、pp.4-7、日本子ども学会、2021年9月(審査有)
81. 高橋智・石川衣紀・田部絢子・石井智也・能田昂・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒・田中裕己：スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と知的障害特別学校の役割—ストックホルム市の二つの基礎特別学校の訪問調査から—、『日本大学文理学部人文科学研究所紀要』第102号、pp.183-193、2021年9月(審査有)
82. 田部絢子・高橋智：自閉スペクトラム症と食の困難に関する研究動向、『SNE ジャーナル』第27巻1号、



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY



pp.147-157、日本特別ニーズ教育学会、2021 年 10 月(審査有)

83. 坂口めぐみ・田部絢子・柴田真緒・高橋智：中学生における食・睡眠の困難と心身の不調—中学生調査から—、『SNE ジャーナル』第 27 巻 1 号、pp.118-132、日本特別ニーズ教育学会、2021 年 10 月(審査有)
84. 能田昂・石川衣紀・田部絢子・高橋智：スウェーデンにおけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向、『SNE ジャーナル』第 27 巻 1 号、pp.158-168、日本特別ニーズ教育学会、2021 年 10 月(審査有)
85. 内藤千尋・田部絢子・小山定明・池田敦子・高橋智：発達困難を有する非行少年の発達支援と地域移行支援に関する調査研究—少年院の在院者および退院者調査を通して—、『研究助成論文集』第 55 号、pp.113-119、公益財団法人明治安田こころの健康財団、2021 年 11 月
86. 能田昂・田部絢子・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智：スウェーデンの知的障害特別学校と障害の重い子どもの教育—ストックホルム市のモッカシネン特別基礎学校の訪問調査から—、『尚絅学院大学紀要』第 82 号、pp.83-96、2021 年 12 月
87. 田部絢子・石井智也・石川衣紀・内藤千尋・能田昂・池田敦子・高橋智：スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と知的障害特別高校の意義・役割—ストックホルムの聖エリク特別高校の訪問調査から—、『尚絅学院大学紀要』第 82 号、pp.97-109、2021 年 12 月
88. 石井智也・田部絢子・高橋智：戦前の東京市における肢体不自由児教育救済事業と日本最初の肢体不自由特別学校「東京市立光明学校」の開設、『東海学院大学紀要』第 15 号、pp.89-99、2021 年 12 月
89. 石井智也・石川衣紀・田部絢子・池田敦子・高橋智：スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と肢体不自由（移動障害）教育の動向、『東海学院大学紀要』第 15 号、pp.79-88、2021 年 12 月
90. 池田敦子・田部絢子・高橋智：米国の大学における知的障害学生への教育機会と教育保障の動向、『東海学院大学紀要』第 15 号、pp.71-78、2021 年 12 月
91. 高橋智・石井智也・田部絢子・石川衣紀・能田昂・内藤千尋：デンマークにおける重度障害の子ども・若者の生活ケアと発達支援—コペンハーゲンの重度障害居住施設「障害児センター・白鳥の家」の訪問調査から—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系』第 71 集、pp. 149 - 159、2020 年 2 月
92. 田部絢子・高橋智：スウェーデンにおける摂食障害と「子ども・家族包括型発達支援」の課題—摂食障害センターおよび摂食障害当事者組織の訪問調査から—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系』第 71 集、pp. 161 - 175、2020 年 2 月
93. 石川衣紀・内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・柴田真緒・池田敦子・田中裕己・高橋智：北欧における子どもの虐待と「子ども虐待防止支援センター（Barnahus）」の取り組み—デンマーク・フィンランドへの訪問調査から—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系』第 71 集、pp. 177 - 191、2020 年 2 月
94. 柴田真緒・高橋智：発達障害を有する子ども・若者の睡眠困難に関する研究動向—海外動向を中心に—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系』第 71 集、pp. 193 - 205、2020 年 2 月
95. 石井智也・高橋智：総力戦体制下の初等教育改革と養護学級・学校の制度化—国民学校令（1941 年）の制定を中心に—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系』第 71 集、pp.207-232、2020 年 2 月
96. 能田昂・高橋智：長崎における濃尾震災（1891 年）の救恤義援活動と長崎盲啞院の設立—長崎慈善会・安中半三郎と野村惣四郎の取り組みを中心に—、『東京学芸大学紀要総合教育科学系』第 71 集、pp.233-250、2020 年 2 月
97. 内藤千尋・田部絢子・高橋智：「発達上の課題を有する在院者に対する処遇プログラム実施ガイドライン」



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

の検討と改善課題—発達上の課題・困難を有する少年院在院者への面接法調査を通して—、『矯正教育研究』第 65 巻、pp.114-121、日本矯正教育学会、2020 年 3 月(審査有)

98. 田部絢子・石川衣紀・内藤千尋・石井智也・池田敦子・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智：北欧と日本の児童虐待防止システムの実態と課題に関する比較調査研究—北欧の「子どもの権利擁護センター Barnahus」を中心に—、『FERI 未来教育研究所紀要』第 8 集、pp.13-22、公益財団法人未来教育研究所、2020 年 3 月(審査有)
99. 高橋智・内藤千尋・田部絢子：少年院における発達上の課題・困難を有する少年への面接・発達相談の試み、『刑政』第 131 巻 4 号、pp. 42-51、公益財団法人矯正協会、2020 年 4 月(審査有)
100. 高橋智・池田敦子・田部絢子：当事者のニーズから考える知的障害教育の機能・役割、『障害者問題研究』第 48 巻 1 号、pp.34-39、全国障害者問題研究会、2020 年 5 月(審査有)
101. 柴田真緒・高橋智：発達障害の子どもが有する睡眠困難の実態と発達支援のあり方に関する研究—発達障害の当事者・保護者・教師への調査を通して—、『発達研究』第 34 巻、pp.83-94、公益財団法人発達科学研究教育センター、2020 年 6 月
102. 高橋智・田部絢子：発達障害当事者の有する「食の困難」と支援のポイント、『臨床栄養』第 137 巻 1 号、pp.2-4、医歯薬出版、2020 年 7 月
103. 高橋智：発達障害当事者調査から探る感覚過敏の諸相と支援、『作業療法ジャーナル』第 54 巻 9 号、pp.992-999、三輪書店、2020 年 8 月
104. 柴田真緒・平井優美・高橋智：発達障害を有する子ども・若者の SNS 使用の現状と課題—当事者調査から—、『SNE ジャーナル』第 26 巻 1 号、pp.103-116、日本特別ニーズ教育学会、2020 年 10 月(審査有)
105. 石井智也・高橋智：昭和初期における東京市教育局の教育改善事業と多様な困難を抱えた子どもの特別学級編制、『SNE ジャーナル』第 26 巻 1 号、pp.64-83、日本特別ニーズ教育学会、2020 年 10 月(審査有)
106. 能田昂・高橋智：濃尾震災（1891 年）による愛知県下の子どもの学校への被災実態と教育復興—災害時に露呈する子どもの生命の位置づけを中心に—、『SNE ジャーナル』第 26 巻 1 号、pp.84-102、日本特別ニーズ教育学会、2020 年 10 月(審査有)
107. 田中裕己・田部絢子・内藤千尋・高橋智：児童心理治療施設入所の子どもの有する発達困難と発達支援の課題—全国の児童心理治療施設職員調査から—、『SNE ジャーナル』第 26 巻 1 号、pp.150-161、日本特別ニーズ教育学会、2020 年 10 月(審査有)
108. 高橋智・田部絢子・田村文誉・水上美樹：発達障害など感覚に特性がある子どもの偏食の悩みと解決のヒント、『歯科衛生士』526 号、pp.47-61、クインテッセンス出版、2020 年 10 月
109. 高橋智・柴田真緒：コロナ禍と特別ニーズをもつ子どもの発達支援—保護者・教師調査から—、『教育』第 898 号、pp.23-30、旬報社、2020 年 11 月
110. 内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・池田敦子・石井智也・柴田真緒・能田昂・田中裕己・高橋智：フィンランドにおける多様な発達困難を有する若者支援の動向—「ユースセンター」の訪問調査から—、『松本大学教育総合研究』第 4 号、pp.109-116、2020 年 11 月
111. 内藤千尋・石川衣紀・田部絢子・高橋智：北欧の刑務所における発達困難を有する若者受刑者の特別ケアの動向—フィンランドとノルウェーの刑務所訪問調査から—、『松本大学教育総合研究』第 4 号、pp.117-127、2020 年 11 月



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

## 研究発表等

1. シンポジウム「知的障害当事者の大学教育保障を切り拓く」、司会：池田敦子・内野智之、シンポジスト：竹本弥生、赤木和重、大竹みちよ・平子輝美、石川衣紀、指定討論：菅野敦、高橋智、日本特別ニーズ教育学会 2024 年度中間集会、東海学院大学、2024 年 6 月
2. 昭和戦前期の高等女学校生徒の有する多様な「学習・生活・健康等の困難」の教育史的検討、石井智也・高橋智、『日本教育学会第 83 回大会発表要旨集録』、pp.47-48、名古屋大学・愛知工業大学、2024 年 8 月
3. 養育環境の整備が偏食の改善に有効であった一症例、磯田友子・田村文誉・高橋智・田部絢子・尾関麻衣子・保母妃美子・水上美樹・菊谷武、『第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会抄録集・抄録集』、P18-09、福岡国際会議場、2024 年 8 月
4. コロナ禍 5 年目のスウェーデンにおける子ども・若者の摂食障害問題—ストックホルム県立摂食障害センターの訪問調査（2024 年 3 月）から—、田部絢子・石井智也・能田昂・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第 62 回大会発表論文集』、福岡国際会議場、2024 年 9 月
5. フィンランドの国民大学と知的障害当事者の継続教育・成人教育・生涯学習支援の動向—ラーヤサロ国民大学知的障害コースの訪問調査（2024 年 3 月）から—、石井智也・田部絢子・池田敦子・能田昂・内藤千尋・石川衣紀・高橋智、『日本特殊教育学会第 62 回大会発表論文集』、福岡国際会議場、2024 年 9 月
6. スウェーデンの国立特別学校と言語障害教育の課題—国立発達性言語障害特別学校の訪問調査（2024 年 3 月）から—、石川衣紀・田部絢子・石井智也・能田昂・内藤千尋・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第 62 回大会発表論文集』、福岡国際会議場、2024 年 9 月
7. コロナ禍 5 年目のフィンランドにおける子どものコロナ禍後遺症とメンタルヘルス問題の動向—「フィンランド精神保健協会」の訪問調査（2024 年 3 月）から—、能田昂・田部絢子・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第 62 回大会発表論文集』、福岡国際会議場、2024 年 9 月
8. フィンランドの特別職業専門学校と特別ニーズを有する若者の職業教育の動向—特別職業専門学校の訪問調査（2024 年 3 月）から—、内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第 62 回大会発表論文集』、福岡国際会議場、2024 年 9 月
9. 「子ども被災・救済の特別ニーズ教育」創成の課題と展望、能田昂・田部絢子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 30 回記念研究大会発表要旨集』、pp. 89-90、日本大学文理学部、2024 年 10 月
10. 総力戦・戦時動員体制下の女子生徒の母体保護・利用厚生と高等女学校の教育、石井智也・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 30 回記念研究大会発表要旨集』、pp. 147-148、日本大学文理学部、2024 年 10 月
11. 発達上の課題・困難を有する少年院在院者の処遇のあり方（基礎的環境整備・合理的配慮）に関する検討、内藤千尋・田部絢子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 30 回記念研究大会発表要旨集』、日本大学文理学部、2024 年 10 月
12. 知能検査法開発のフロンティア—アルフレッド・ビネとテオドール・シモン研究の現在—、石川衣紀・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 30 回記念研究大会発表要旨集』、pp. 87-88、日本大学文理学部、2024 年 10 月
13. 高校生及び発達障害当事者の本人調査から探る「見ることの困難」と発達支援の課題、吉井こころ・高橋智・田部絢子、『日本特別ニーズ教育学会第 30 回記念研究大会発表要旨集』、pp. 161-162、日本大学文理学部、2024 年 10 月



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

14. 教職員のメンタルヘルス対策に関する実態と支援の課題—全国都道府県・政令指定都市教育委員会調査を通して—、竹澤沙希・高橋智・田部絢子、『日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会発表要旨集』、pp.169-170、日本大学文理学部、2024年10月（日本特別ニーズ教育学会「第30回記念研究大会優秀発表賞」受賞）
15. 発達障害等の食の困難を有する子ども・家族の実態と発達支援の課題—全国の保健所・保健センターの栄養職員調査から—、田部絢子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会発表要旨集』、pp.115-116、日本大学文理学部、2024年10月
16. 【ラウンドテーブル】「境界知能（ボーダーライン知的機能）」を有する子ども・若者の困難の実態と発達支援の課題—教育・福祉・医療から考える—、企画：高橋智・田部絢子・池田敦子、司会：田部絢子・内藤千尋、話題提供：池田敦子・野本実希・古荘純一、指定討論：楠凡之、『日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会発表要旨集』、pp.126-128、日本大学文理学部、2024年10月
17. 【ラウンドテーブル】子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる—コロナ禍と子どもの発達困難・リスクの研究—、企画：能田昂・田部絢子・高橋智、司会：高橋智・能田昂、話題提供者：能田昂・石塚一枝・山野則子、指定討論：西牧謙吾、『日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会発表要旨集』、pp.129-130、日本大学文理学部、2024年10月
18. 準備委員会・理事会研究委員会連携企画セミナー「若手チャレンジ研究会Ⅰ：学術研究の成果をどのように出版するのか：学会文献賞受賞者に聞く」、企画・司会：高橋智・松崎保弘、話題提供：羽山裕子、阪本美江、『日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会発表要旨集』、p.11、日本大学文理学部、2024年10月
19. 学会設立30周年記念シンポジウム「なぜ日本特別ニーズ教育学会を設立したのか—学会創設のレジェンドが語る—」、企画：高橋智、司会：黒田学・米田宏樹、話題提供：窪島務、荒川智、高橋智「なぜ日本特別ニーズ教育学会を設立したのか—30年前の学会創設前後をふり返る—」、指定討論：石川衣紀、『日本特別ニーズ教育学会第30回記念研究大会発表要旨集』、pp.195-200、日本大学文理学部、2024年10月
20. 【ラウンドテーブル】コロナ禍と子どもの発達困難・リスクの教育学的検討、企画者・司会者：高橋智、報告者：田部絢子・能田昂・内藤千尋・石井智也・石川衣紀・池田敦子、『日本教育学会第82回大会発表要旨集』、法政大学・東京都立大学、2023年8月
21. 【理事会企画シンポジウム】コロナ禍と特別支援教育—これまでとこれから—、企画者：井澤信三・田部絢子、司会者：井澤信三、話題提供者：田中恭子・田部絢子・西牧謙吾、指定討論者：野呂文行・高橋智、『日本特殊教育学会第61回大会（2023横浜大会）発表論文集』、p.40、横浜国立大学、2023年8月
22. スウェーデンのインクルーシブ教育と知的障害教育問題の動向—スウェーデンの知的障害当事者組織「Riksförbundet FUB」への訪問調査から—、田部絢子・能田昂・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第61回大会（2023横浜大会）発表論文集』、P1A-38、横浜国立大学、2023年8月
23. コロナ禍のスウェーデンにおける子どものメンタルヘルス問題の動向と発達支援の課題—児童思春期精神障害中間ケア施設「BUP Mellanvård NV」の訪問調査を通して—、石川衣紀・田部絢子・石井智也・能田昂・内藤千尋・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第61回大会（2023横浜大会）発表論文集』、P2B-19、横浜国立大学、2023年8月



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY



24. スウェーデンの就学前学校における特別ニーズ教育の動向と実際―特別ニーズ教育を実施する就学前学校3校の訪問調査から―、内藤千尋・田部絢子・石井智也・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第61回大会（2023 横浜大会）発表論文集』、P2B-24、横浜国立大学、2023 年 8 月
25. 北欧諸国における子どものコロナ後遺症問題と発達困難・リスクの動向、能田昂・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・石川衣紀・高橋智、『日本特殊教育学会第61回大会（2023 横浜大会）発表論文集』、P3B-35、横浜国立大学、2023 年 8 月
26. スウェーデンのインクルーシブ教育と聴覚障害教育の動向―ストックホルム市アルヴィーク基礎学校（Alviksskolan）聴覚障害クラスの訪問調査を通して―、石井智也・田部絢子・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第61回大会（2023 横浜大会）発表論文集』、P3F-9、横浜国立大学、2023 年 8 月
27. 【ラウンドテーブル】子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる：コロナ禍後遺症と発達困難・リスクの動向、企画者・司会：高橋智、話題提供：田部絢子・能田昂・内藤千尋・石井智也・石川衣紀・池田敦子、『日本子ども学会学術集会第19回こども学会議プログラム・抄録集』、p.29、白百合女子大学、2023 年 9 月
28. 少年院等の矯正教育機関における障害当事者の障害・発達特性に応じた合理的配慮の国際動向と課題―障害者権利条約の視点から―、内藤千尋・田部絢子・高橋智、日本矯正教育学会第59回大会、法務省矯正研修所、2023 年 10 月
29. 昭和戦前期の旧制中学校生徒の有する多様な「学習・生活・健康等の困難」の教育史的検討、石井智也・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第29回研究大会（東京大会）プログラム・発表抄録集』、pp.70-71、東京学芸大学、2023 年 10 月
30. 戦前における鈴木治太郎の知能測定法の標準化実験の検討、石川衣紀・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第29回研究大会（東京大会）プログラム・発表抄録集』、pp.72-73、東京学芸大学、2023 年 10 月
31. 少年院における発達困難を有する少年の就学支援・移行支援の課題 ―少年院在院者への継続的な面接法調査から―、内藤千尋・田部絢子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第29回研究大会（東京大会）プログラム・発表抄録集』、pp.74-75、東京学芸大学、2023 年 10 月
32. スウェーデンの国民大学と障害当事者の生涯学習支援の動向、企画者・司会者：高橋智、話題提供者：石井智也・田部絢子・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・能田昂、『日本発達障害学会第58回研究大会発表論文集』、京都教育大学、2023 年 11 月
33. アルフレッド・ビネ（Alfred Binet）研究の現在、石川衣紀・高橋智、『日本発達障害学会第58回研究大会発表論文集』、京都教育大学、2023 年 11 月
34. コロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの発達リスクと発達支援に関する国内外の動向、田部絢子・内藤千尋・石井智也・柴田真緒・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智、『日本教育学会第81回大会発表要旨集』、pp.356-357、広島大学、2022 年 8 月
35. 新型コロナ後遺症（Long COVID）と子どもの発達困難に関する議論の動向、能田昂・田部絢子・石井智也・高橋智、『日本教育学会第81回大会発表要旨集』、pp.360-361、広島大学、2022 年 8 月
36. スウェーデンにおける病気の子どもの教育ケアの動向、高橋智・田部絢子・石井智也・石川衣紀・能田昂・内藤千尋・池田敦子・柴田真緒、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O3-4、筑波大学、2022 年 9 月



37. 特別支援学校の自立活動に関する動向と課題―「知的障害」領域を中心に―、田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・柴田真緒・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O6-3、筑波大学、2022年9月
38. 特別支援学校の自立活動に関する動向と課題―「肢体不自由・病弱」領域を中心に―、石井智也・田部絢子・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・柴田真緒・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O4-3、筑波大学、2022年9月
39. デンマークにおける肢体不自由（運動障害）教育システムの動向―インクルーシブ教育における肢体不自由（運動障害）特別学校・学級の意義と役割―、池田敦子・田部絢子・石井智也・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・柴田真緒・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O6-5、筑波大学、2022年9月
40. 特別支援教育におけるICT利活用に関する動向と課題―視覚障害・聴覚障害教育を中心に―、石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・能田昂・柴田真緒・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O4-4、筑波大学、2022年9月
41. デンマークにおける病気の子どもの教育ケアの動向、能田昂・田部絢子・石井智也・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・柴田真緒・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O3-3、筑波大学、2022年9月
42. コロナ禍における子どもの不安・ストレスと睡眠困難・生活リズム困難に関する動向、柴田真緒・田部絢子・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O4-5、つくば国際会議場、2022年9月
43. 肢体不自由・知的障害等の重度重複障害当事者と感覚を通じた発達支援―デンマークの国際スノーブレン協会への訪問調査から―、内藤千尋・田部絢子・石川衣紀・高橋智、『日本特殊教育学会第60回大会発表論文集』、O2-4、筑波大学、2022年9月
44. 0歳から1歳半児の保護者における子どもの口腔機能発達に関する主観的評価、成田妙子・田村文誉・山田裕之・田部絢子・高橋智・田中祐子・水上美樹・菊谷武、『第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会プログラム・抄録集』、p.487、幕張メッセ、2022年9月
45. 企画シンポジウム・コロナ禍に伴う子どもの「いのち・生活・学び・発達」の危機の現状と発達支援の課題、コーディネーター・司会：高橋智・田部絢子、シンポジスト：高橋亜美・内田良・竹内章郎、『日本子ども学会学術集会第18回こども学会議プログラム・抄録集』、p.13、東海学院大学、2022年10月
46. 北欧のコロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの「生活・学習・発達」の困難・リスクと発達支援の動向―知的障害・発達障害を中心に―、柴田真緒・石井智也・田部絢子・能田昂・内藤千尋・石川衣紀・池田敦子・高橋智、『日本子ども学会学術集会第18回こども学会議プログラム・抄録集』、p.65、東海学院大学、2022年10月
47. 北欧のコロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの「生活・学習・発達」の困難・リスクと発達支援の動向―肢体不自由・重度重複障害・疾病を中心に―、石川衣紀・池田敦子・能田昂・田部絢子・内藤千尋・石井智也・柴田真緒・高橋智、『日本子ども学会学術集会第18回こども学会議プログラム・抄録集』、p.66、東海学院大学、2022年10月
48. 少年院における発達上の課題・困難を有する少年に対する発達支援の動向、内藤千尋・田部絢子・高橋智、日本矯正教育学会第58回大会、2022年10月14日―11月14日（オンライン開催）
49. 〔課題研究Ⅲ〕特別ニーズ教育の「特別ニーズ」とは何か、改めて検討する、企画コーディネーター：高橋智、司会：高橋智・河合隆平、話題提供者：高橋智・河合隆平・田中謙・渡邊流理也・森定薫、『日本特



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

別ニーズ教育学会第 28 回研究大会（新潟大会）プログラム・発表要旨集』、pp.71-73、新潟大学教育学部・上越教育大学（オンライン開催）、2022 年 10 月

50. 食の困難を有する子どもと家族を孤立させない発達支援のあり方に関する研究—全国児童発達支援センターへの質問紙法調査から—、酒井愛瑠・田部絢子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 28 回研究大会（新潟大会）プログラム・発表要旨集』、pp.68-69、新潟大学教育学部・上越教育大学（オンライン開催）、2022 年 10 月（日本特別ニーズ教育学会「第 28 回研究大会優秀発表賞」受賞）
51. スウェーデンのコロナ禍における子どもの発達危機と教育・発達支援に関する動向、高橋智、日本大学教育学会春季学術研究発表会発表要旨集、pp.10-11、2021 年 6 月（オンライン）
52. 【公開シンポジウム I コロナが投影する学校教育の「本質」】コロナ禍における子どもの「生活と発達の危機」と学校教育の意義・役割 —子どもの「生活と発達の危機」に関するレビューと実態調査から考える—、高橋智、『日本教育学会第 80 回大会発表要旨集録』、pp. 157-158、筑波大学、2021 年 8 月（オンライン開催）
53. コロナ禍における障害・疾病等を有する子どもの発達危機と発達支援に関する調査研究、田部絢子・石川衣紀・柴田真緒・高橋智、『日本教育学会第 80 回大会発表要旨集録』、pp. 217-218、筑波大学、2021 年 8 月（オンライン開催）
54. 北欧諸国におけるコロナ禍の子どもの発達危機と発達支援に関する動向、能田昂・石川衣紀・田部絢子・高橋智、『日本教育学会第 80 回大会発表要旨集録』、pp. 219-220、筑波大学、2021 年 8 月（オンライン開催）25 日～8 月 27 日
55. 総力戦体制下の青年学校と勤労青年の多様な困難に応じた配慮・対応に関する研究、石井智也・高橋智、『日本教育学会第 80 回大会発表要旨集録』、pp. 169-170、筑波大学、2021 年 8 月（オンライン開催）
56. 少年院と学校教育の連携・協働の現状と発達支援の課題—少年院在院少年のニーズ調査から—、内藤千尋・田部絢子・高橋智、『日本教育学会第 80 回大会発表要旨集録』、pp. 131-132、筑波大学、2021 年 8 月（オンライン開催）
57. コロナ禍における子どもの「生活と発達」の危機と発達支援に関する国内外の動向（その 1）—子どもの食の困難を中心に—、田部絢子・柴田真緒・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
58. コロナ禍における子どもの「生活と発達」の危機と発達支援に関する国内外の動向（その 2）—子どもの睡眠・生活リズムの困難を中心に—、柴田真緒・田部絢子・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
59. フィンランドにおけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向、石川衣紀・田部絢子・能田昂・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
60. 「スペイン風邪」パンデミック（1918 年～1920 年）における日本の子どもと学校教育、能田昂・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
61. 明治期の東京市において「貧困・疾病・障害」等で放置された子どもに向き合った教育者群像、石井智也・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
62. 少年院における発達困難を有する非行少年の矯正教育と発達支援の課題—法務省矯正局「発達上の課題



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- を有する在院者に対する処遇プログラム実施ガイドライン」の視点から一、内藤千尋・田部絢子・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
63. 米国の大学における知的障害学生対応の教育プログラムと修学支援の動向、池田敦子・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
64. 社会的養護と発達困難を有する子どもの発達支援—児童心理治療施設職員への聞き取りを通して—、田中裕己・田部絢子・内藤千尋・高橋智、『日本特殊教育学会第 59 回大会発表論文集』、筑波大学、2021 年 9 月
65. 少年院における学校教育保障の課題—少年院在院少年のニーズ調査から—、内藤千尋・田部絢子・高橋智、日本矯正教育学会第 57 回大会、法務省矯正研修所、2021 年 10 月（オンライン開催）
66. 戦前の東京市における肢体不自由児教育救済事業と「東京市立光明学校」の開設、石井智也・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 69-70、2021 年 10 月
67. スウェーデンにおけるインクルーシブ教育と肢体不自由（移動障害）教育の動向、石川衣紀・田部絢子・石井智也・内藤千尋・池田敦子・能田昂・柴田真緒・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 87-88、2021 年 10 月
68. スウェーデンにおける精神障害者の地域ケア—精神障害当事者支援組織「フォンテンヒュス・フェンダール支部（Fontänhus Sköndal）」の訪問調査から—、内藤千尋・田部絢子・石井智也・石川衣紀・能田昂・池田敦子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 25-26、2021 年 10 月
69. コロナ禍における子どもの睡眠・生活リズムの困難の実態と支援ニーズ—全国の小中高高校生・保護者調査から—、柴田真緒・田部絢子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 71-72、2021 年 10 月
70. 北欧諸国におけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向—デンマーク・アイスランドを中心に—、能田昂・田部絢子・石井智也・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 55-56、2021 年 10 月
71. 現代の高校生が抱える食・睡眠の困難と心身の不調の実態—高校生調査から—、田部絢子・坂口めぐみ・柴田真緒・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 43-44、2021 年 10 月
72. 現代の中学生が抱える食・睡眠の困難と心身の不調の実態—中学生調査から—、坂口めぐみ・田部絢子・柴田真緒・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 63-64、2021 年 10 月
73. 顕著な生きづらさ・発達困難を抱える若者における発達の自立の過程：当事者との振り返りの共同作業を通して、池田敦子・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第 27 回研究大会発表要旨集（オンライン・東海大会）』、pp. 59-60、2021 年 10 月
74. コロナ禍における子どもの「学習・生活・発達」の困難に関する調査研究—小中高高校生・保護者・教師調査から—、田部絢子・柴田真緒・石川衣紀・内藤千尋・高橋智、『日本発達神経科学会第 10 回学術集会プログラム・抄録集』、p.38、東京大学（オンライン開催）、2021 年 11 月





75. 北欧諸国におけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向、能田昂・田部絢子・石井智也・石川衣紀・高橋智、『日本発達神経科学会第10回学術集会プログラム・抄録集』、p.39、東京大学（オンライン開催）、2021年11月
76. 1930年代の東京市による特別学級編制の組織化と多様な発達上の困難をもつ子どもへの「特別な教育的対応・配慮」、石井智也・高橋智、『社会事業史学会第48回大会報告要旨集』、pp.45-52、山口県立大学、2020年5月
77. 北欧諸国における子ども・若者の「依存症」問題と発達支援の動向—スウェーデン・ノルウェーの当事者支援組織の訪問調査から—、内藤千尋・田部絢子・高橋智、『日本矯正教育学会第56回大会発表抄録集』、法務省矯正研修所、2020年10月（オンライン開催）
78. 発達障害を有する子ども・若者のSNS使用の実態—発達障害当事者調査から—、柴田真緒・平井優美・高橋智、『日本特別ニーズ教育学会第26回研究大会（WEB大会）発表要旨集』、pp.48-49、2020年10月
79. 知的障害児の食の困難と発達支援に関する研究動向、田部絢子・高橋智、日本発達神経科学会第9回学術集会、東京大学、2020年11月（オンライン開催）
80. 発達障害を有する子ども・若者のSNS使用の実態と発達支援の課題、柴田真緒・高橋智、日本発達神経科学会第9回学術集会、東京大学、2020年11月（オンライン開催）
81. 知的障害者の大学・高等教育保障に関する日米の比較検討、池田敦子・高橋智、日本発達神経科学会第9回学術集会、東京大学、2020年11月（オンライン開催）

## 社 会 活 動

### 社会貢献活動

1. 法務省矯正局外部アドバイザー（発達上の課題を有する在院者に対する処遇プログラム実施ガイドライン改訂版の作成協力等）
2. 少年院発達相談講師（多摩少年院、東日本少年矯正医療・教育センター、茨城農芸学院、各少年院毎月1回発達相談）
3. 法務省矯正研修所任用研修課程高等科研修講師（「障害理解と発達支援」担当）
4. 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック摂食外来発達相談講師（毎月1回）
5. 国分寺市立こどもの発達センター発達相談員（毎月1回）
6. 財団法人カシオ科学振興財団選考委員

### 新聞・専門誌・TV・SNS等のメディアにおけるコメント・書評・研究紹介

1. アイスランド訪問調査研究に関わるSNS記事掲載（アイスランド・レイキャビク市の特別基礎学校 Klettaskóli）: Japönsk sendinefnd sérfræðinga í sérkennslufræðum heimsótti Klettaskóla, 19 Feb 2025
2. アイスランド訪問調査研究に関わるウェブサイトおよびSNS記事掲載（アイスランド・レイキャビク市の障害者生涯教育センターFjölmennt）、20.02.2025、Heimsókn frá Japan 20.02.2025 Steinunn Ágústsdóttir
3. 新聞記事掲載：子どもは今もコロナ禍—心身に影響遅れて表れる—多くの国で警鐘の報告増加—日本大学教授（教育学）高橋智さんに聞く、『しんぶん赤旗』2025年3月21日



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。  
TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

4. 書評：丸山啓史「＜書評＞」高橋智、能田昂、田部絢子編著『コロナ禍と子どもの発達困難・リスクの研究 子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる』、『教育学研究』第 92 巻 1 号、pp.129-131、日本教育学会、2025 年 3 月
5. 新聞記事コメント：コロナ後遺症苦しむ子ども―「5 類」移行 2 年―今も登校困難・医療支援訴え、『読売新聞』朝刊、2025 年 5 月 8 日、読売新聞東京本社
6. 新聞記事コメント：コロナ禍終わり増える暴力、不登校―子どもの心ケア継続を―専門家「小さな変化見逃さないで」、『河北新報』2025 年 5 月 20 日、子どもの心身ケア継続を―コロナ禍影響が増える不登校や暴力増―、『中国新聞』2025 年 5 月 20 日、コロナ禍後の学校現場―増え続ける不登校、暴力行為―子どもの心身に異変「ケア継続を」、『神戸新聞』2025 年 5 月 20 日、新型コロナ心身に影響か―増え続ける不登校や暴力―子どものケア「継続を」、『長崎新聞』2025 年 5 月 20 日、コロナ 5 類移行 2 年影響今なお―増え続ける不登校や暴力―専門家ケア継続訴え、『山梨日日新聞』2025 年 5 月 20 日ほか
7. 新聞記事コメント：能登地震中学生の集団避難調整―学び確保にジレンマ―求められる心のケア、『中国新聞』2024 年 1 月 13 日、中学生の心のケアを 集団避難、保護者ら不安 輪島、山陰中央新報デジタル、2024/1/13、求められる心のケア―中学生集団避難―親元離れる生活 不安の声、『日本海新聞』2024 年 1 月 13 日
8. 新聞記事コメント：立ち直り支援の現場上―過ちに向き合う力育む―共同生活家族のように、『読売新聞』朝刊、2024 年 2 月 8 日、立ち直り支援の現場下―足りない経験埋める―社会での居場所大切、『読売新聞』朝刊、2024 年 2 月 9 日
9. スウェーデン訪問調査研究に関わる SNS 記事掲載（ストックホルム市の重度知的障害・重症心身障害児等対象の Östra 適応高校（Östra Anpassad gymnasieskola））：Igår hade vi besök av en delegation från en japansk lärarutbildning! De var framförallt nyfikna på hur vi arbetar på Anpassad gymnasieskolan och biträdande rektor Bo Milton välkomnade och guidade de långväga besökarna i skolan, 27 March 2024
10. スウェーデン訪問調査研究に関わるウェブサイト記事掲載（スウェーデン特別ニーズ教育庁ウェブサイト）、Stort internationellt intresse för Hällsboskolan Mälarhöjden, 9 april 2024
11. ウェブサイト記事紹介：【朝日新聞デジタル】白米と肉しか食べられない...子どもの「偏食」、発達障害との関連も?―「完食指導」を考える 食べられない子どもたち 反響編（中）―、2024 年 10 月 20 日
12. 新聞記事掲載：「食べたことないものきらい」―「完食指導」を考える 食べられない子どもたち 反響編（中）―「食の困難」発達障害との関連指摘も専門家の支援必要、『朝日新聞』朝刊、2024 年 11 月 21 日
13. スウェーデン訪問調査研究に関わる SNS 記事掲載（ストックホルム市アルヴィーク基礎学校聴覚障害クラス）：Vi tar ibland emot internationella studiebesök till våra verksamheter här på Alviksskolan och det är alltid värdefullt att få utbyta erfarenheter och att lära oss av varandra!, 2023-03-17
14. スウェーデン訪問調査研究に関わる SNS 記事掲載（アルマ国民大学高次脳機能障害失語症コース）：alma\_folkhögskola I fredags fick Kurs för personer med afasi - Blåa gruppen besök av sju professorer från olika universitet i Japan under ledning av professor emeritus Takahashi Satoru., 2023-03-21
15. スウェーデン訪問調査研究に関わるウェブサイト記事掲載（ダーラナ県レクサンド市）：Barnteaterutbyte och besök av japanska forskare, 22 mars 2023 klockan 13.57



16. 新聞記事コメント：障害で自己主張や反論困難「供述弱者」見つめたい—大阪地裁に新人裁判官—特別支援校の教員免許保持—、『読売新聞』夕刊、読売新聞大阪本社、2023 年 5 月 13 日
17. ウェブサイト記事掲載：少年院の発達障害支援を強化 法務省、処遇指針改定へ、共同通信社、2023 年 9 月 17 日
18. 新聞記事コメント：「病気療養児」コロナで増加 昨年度 6544 人 中高生「心の病気」半数、『日本経済新聞』夕刊、2023 年 11 月 24 日
19. 図書紹介：小野川文子「＜図書紹介＞」柴田真緒・高橋智『発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究』、『教育学研究』第 89 巻 1 号、pp.107-109、日本教育学会、2022 年 3 月
20. 新聞記事掲載：新刊案内：あつくん作・高橋智監修「あつくんはねむりたい 眠りの困難と発達障害」(1965 円世音社)、『日本教育新聞』2021 年 2 月 15 日
21. 新聞記事コメント：京教大付属小中支援学級の廃止案凍結へ—保護者有志ら存続を希望—当事者の思いくむ制度に、『京都新聞』2021 年 2 月 16 日
22. 新聞記事コメント：改組計画に揺れる京教大付属校あるべき姿は—もっと先進的取り組みを—多様性尊重の社会へ 時代のニーズに応じて、『京都新聞』2021 年 2 月 20 日
23. ウェブサイト記事掲載：「睡眠についての最新研究をご紹介—「発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究」、LITALICO 発達ナビ BOOK ガイド、2021 年 3 月 6 日
24. 新聞記事掲載：絵本『あつくんはねむりたい』発達障害の人の眠りの困難知って—絵本監修日本大学文理学部教授高橋智さんに聞く—話聞き不安軽減 生活にリズムを—、『しんぶん赤旗』2021 年 3 月 22 日
25. 新聞記事コメント：特別支援教育、私立進まず 研修少なく、公立と差、『西日本新聞』2021 年 4 月 15 日
26. 図書紹介：藤川雅人「＜図書紹介＞あつくんはねむりたい：眠りの困難と発達障害、あつくん作・高橋智監修、B5 変型・27 頁・1650 円（税込）、世音社」、『特別支援教育研究』第 764 号、p.56、東洋館出版社、2021 年 4 月
27. 新聞記事転載：「【トピックス】特別支援教育、私立進まず 研修少なく公立と差」『すべての人の社会 Society for All』第 491 号、p.13、日本障害者協議会、2021 年 5 月 15 日
28. 図書紹介：「加藤純子【こども図書館】あつくん作／高橋智監修、あつくんはねむりたい—眠りの困難と発達障害—」『女性のひろば』第 508 号、p.122、2021 年 6 月
29. 新聞記事掲載：コロナ下の授業「難しすぎる」5 割：小中高生調査、『朝日新聞』朝刊、朝日新聞東京本社、2021 年 9 月 12 日
30. テレビ出演（録画）：＜？よミトく！＞コロナ禍の授業『難しすぎる』が 5 割、日本テレビ「ZIP!」、2021 年 9 月 14 日
31. テレビ番組にて調査研究結果紹介：授業の進み方早い」約 4 割・高校生・オンラインに“悩み”、フジテレビ「めざましテレビ」、2021 年 9 月 17 日
32. 新聞記事掲載：コロナ禍子どものニーズは？—懸命に生きる子どもの声のこしたい—直面する困難、柔軟な対応力も、『しんぶん赤旗』2021 年 11 月 23 日
33. 書評記事掲載：宮原公子「田部絢子・高橋智著『発達障害等の子どもの食の困難と発達支援』：食の実態を明らかにし、対応と支援のあり方を分析—さらなる支援研究の礎となり、教育現場にも一石を投じる—」



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

『図書新聞』第 3429 号、第 10 面、2020 年 1 月 1 日

34. ウェブサイト記事掲載：障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例逐条解説を作成しました、小金井市ウェブサイト、2020 年 2 月 27 日
35. スウェーデン訪問調査研究に関わる SNS 記事掲載（スウェーデン若年精神障害者支援組織）：  
fontanhusetskondal Idag har vi haft långväga besök! Lärare och elever från universitet hela vägen från Japan kom och fikade med oss och lärde sig mer om fontänhuset. Mycket uppskattat!, 2020-03-06
36. スウェーデン訪問調査研究に関わるウェブサイト記事掲載（スウェーデンメンタルヘルス協議会）：  
NSPH:s samarbetsmodell lockar japanska forskare : Intresset för att skapa en starkare brukarrörelse i Japan var motivet till ett långväga och engagerat besök hos NSPH:s rikskansli i Stockholm.,2020-03-09
37. スウェーデン訪問調査に関わる SNS 記事掲載（DEV：仕事も勉強もしていない若者支援プロジェクト）：  
dev.sthlm We were very pleased to be visited by colleagues from Satoru Takahashi's laboratory at Tokyo Gakugei University last week. 2020-03-10
38. 雑誌記事掲載：『心とからだの健康』編集部取材「＜養護教諭のアンテナ＞発達障害などの子どもの食の困難とは」『心とからだの健康』第 24 巻 4 号、p.76、健学社、2020 年 4 月
39. 図書紹介：「＜ザ・情報ツウ：news&book reviews＞Something can't eat 食べられないものがあることを認めてほしい：あつくん作・高橋智監修『あつくんはたべられない一食の困難と感覚過敏一』」『心とからだの健康』第 24 巻 4 号、p.77、健学社、2020 年 4 月
40. 図書紹介：小国喜弘「＜図書紹介＞田部絢子・高橋智著『発達障害等の子どもの食の困難と発達支援』、『教育学研究』第 87 巻 2 号、pp.261-262、日本教育学会、2020 年 6 月
41. 雑誌記事掲載：月刊『心とからだの健康』編集部「発達障害のある子どもの食の困難とは」『食育フォーラム』第 20 巻 9 号、pp.32-33、健学社、2020 年 9 月
42. 書評：池田吉史「＜書評＞柴田真緒・高橋智著『発達障害当事者の睡眠困難と発達支援の研究』（風間書房、2020 年）」『SNE ジャーナル』第 26 巻 1 号、pp.176-178、日本特別ニーズ教育学会、2020 年 10 月
43. ウェブサイト記事掲載：「通常学級での「インクルーシブ教育」推進を：段ボールで間仕切り―特別支援学校の 教室不足深刻―「設置基準の策定は悲願」」、毎日新聞、2020 年 12 月 16 日
44. 新聞記事掲載：「特別支援学校の環境整備―教室幅 3 メートル、プラで壁―設置基準なく「過密化」不可避」『毎日新聞』朝刊、毎日新聞東京本社、2020 年 12 月 17 日



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY